

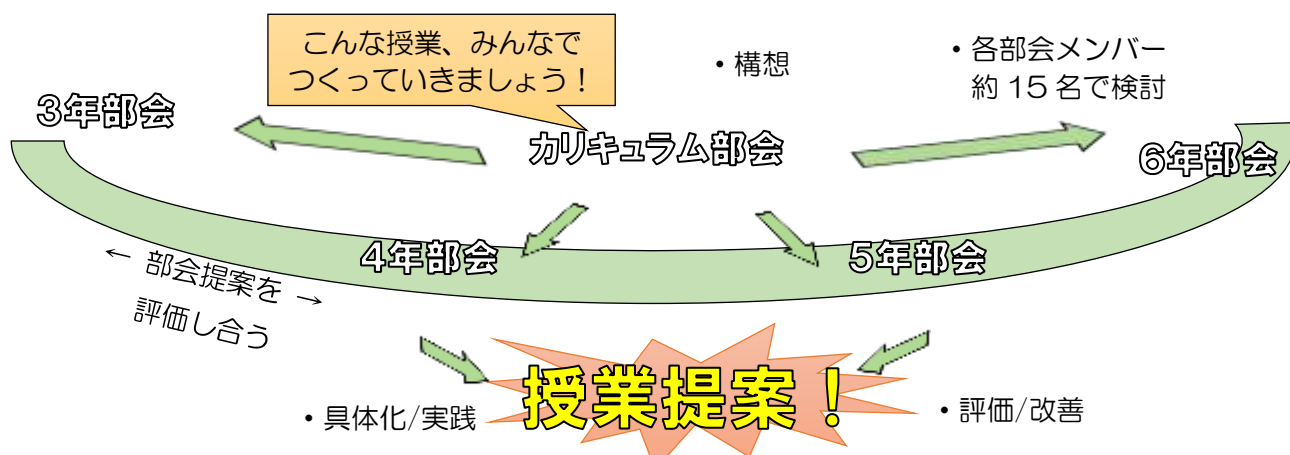
社研ニュース

令和4年6月27日
社研ニュース No.3
川崎市立小学校社会科教育研究会

5月の支部主任・会員研修会、6月の教育課程研究会、そして7月の授業研究会及び各種研修会と、皆様と社会科を語り合う機会が増え、うれしく思います。お近くの常任委員の顔、名前を覚えていただけましたでしょうか。今後もお困りのことがございましたら、ぜひご相談ください。

7/6学年別授業研①開催！

7/6（水）は学年部会の熱い思いを乗せた授業研究会（常任委員授業）が行われます。授業研究会では、具体的に授業での子どもの姿や教師の支援に着目し、研究主題に迫っていけるよう、「部会提案」をいたします。ぜひ、忌憚なくご意見をいただきたいと思ひます。



今年度も『ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習』を主題に研究を進めています。授業づくりにおいては「教材化・学習過程・学習活動・指導と評価・一人一人が生きる社会科学習」の5つの視点を大切にしながら実践を行っています。特に今年度は、「教材化」を「研究の重点」として取り上げます。子どもとのつながりを考慮し、学ぶ意欲を高めつつ、学習のねらいを達成することができる社会的事象の教材化を図ることを大切にしています。身近な地域や川崎らしい地域教材を開発したり、副読本を活用して地域や子どもの実態に即した教材を作成したりします。参観していただいた先生方に「楽しい、自分もやってみたい」と思ってもらえるような授業を目指します。取り上げた重点は、部会提案の中心に据えるのは勿論のこと、授業の見どころとして提案します。どの授業を参観するかお考えの際に、参考にしていただけたらと思います。

また、GIGAスクール構想に基づき、GIGA端末の有効活用などについても研究を進めていきたいと考えています。

カリキュラム部長

4 年部会 会場 川崎市立 平 小学校

単元名「ごみはどこへ」～身近な取り組みから、ごみの減量について考える～

●単元のご紹介

私たちの生活を支えている廃棄物を処理する事業についての単元です。事業に携わる人々の「工夫や努力」が、私たちの生活環境の維持と向上に役立っていることを学習していきます。そして、学習したことを基に社会への関わり方を「選択・判断」していきます。

●ここ見て！ポイント

「副読本『くらしとごみ』」や「出前ごみスクール」など、川崎市全ての学校でも活用できる資料や出前授業を問題解決的な学習の流れの中で位置づけていきます。単元終末では、ごみの減量に取り組む「廃棄物減量指導員」など、平小の身近な社会的事象も踏まえながら、社会への関わり方を考えていきます。「自分事」として考える子どもたちの姿をご覧ください。

5 年部会 会場 川崎市立 野川 小学校

「米作りのさかんな地域」～南魚沼の米作りからこれからの農業を考える～

●単元のご紹介

普段子ども達が口にしている米がどのように作られ、私たちの手元に届くのか学習していきます。米作りに関わる人々の工夫や努力、「おいしい米を届けたい」という思いを知っていくことでこれからの農業について問題意識をもち、発展について考えていくことができると考えています。

●ここ見て！ポイント

南魚沼市の稲作農家、Mさんを取り上げて学習します。Mさんは稲作や米の魅力を発信していくために様々な取り組みを行っています。教科書にも載っている人物を改めて教材化し、「おいしい米を一人でも多くの消費者に届けたい」という熱意に触れることが意欲的につながります。また本時でもMさんの取り組みを取り上げることで問題意識が高まり、「選択・判断」する姿につながっていきたいと考えています。

- ・授業研開催に先立ち、6/15 付け文書で参加希望票を各校に配付しております。
- ・感染予防対策のため、当日は検温・体調チェックをした上で、室内履きをご準備ください。

夏の研修！

県内臨地研修会・授業づくり研修会の周知及び参加申し込み、ありがとうございます。参加者には7月中に2次案内を送付いたします。